

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西部やまと園	階数	地上4F
建設地	鳥取県米子市皆生新田2丁目38,40	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2016年11月16日
敷地面積	8,715㎡	作成者	笹野
建築面積	964㎡	確認日	2016年11月21日
延床面積	2,648㎡	確認者	戸田



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺地域及び既存施設の環境に配慮した施設づくりを目指した。	その他 0
Q1 室内環境	外部騒音の抑制、室温の制御、自然光の導入等快適な居住空間づくりを目指した。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺及び既存施設との景観の調和を図った。
LR1 エネルギー	自然採光を居室以外の共用部にも積極的に取り入れた。	LR3 敷地外環境 駐車スペースを十分確保した。周辺建物への日照を確保した配置計画とした。
Q2 サービス性能	共用部にゆとりをもたせ様々な居住者に対応できるように計画した。	
LR2 資源・マテリアル	節水型の設備機器の採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される